



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 スターティアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3393 URL <https://www.startiaholdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本郷 秀之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO 兼 コーポレート本部長 (氏名) 植松 崇夫 (TEL) 03-5339-2109
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,636	7.2	593	11.2	589	0.1	402	△17.9
2025年3月期第1四半期	5,258	6.6	533	△16.0	589	△9.3	489	12.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 403百万円(△12.0%) 2025年3月期第1四半期 459百万円(2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	42.79	—
2025年3月期第1四半期	52.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	13,075	7,061	53.5
2025年3月期	14,204	7,649	53.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 6,996百万円 2025年3月期 7,595百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	0.00	46.00	0.00	68.00	114.00
2026年3月期	0.00				
2026年3月期(予想)		54.00	0.00	71.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当63円00銭 記念配当8円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,700	8.6	1,380	4.4	1,380	3.1	920	△9.3	97.26
通期	24,100	8.5	3,000	9.6	3,000	7.7	2,000	2.0	211.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	10,240,400株	2025年3月期	10,240,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	889,919株	2025年3月期	781,190株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	9,398,826株	2025年3月期1Q	9,402,729株

- (注) 1. 期末自己株式数には、「株式給付信託 (BBT-RS及びJ-ESOP-RS)」にかかる信託口が保有する当社株式 (2026年3月期1Q406,089株、2025年3月期447,360株) が含まれております。
2. 期中平均株式数について、2026年3月期1Qは「株式給付信託 (BBT-RS及びJ-ESOP-RS)」にかかる信託口が保有する当社株式443,457株を、2025年3月期1Qは「株式給付信託 (BBT及びBBT-RS・J-ESOP及びJ-ESOP-RS)」にかかる信託口が保有する当社株式659,341株を期中平均株式数において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続く一方、アメリカの関税による影響をはじめとした物価上昇や世界経済の不確実性、個人消費の低迷といった複合的なリスクが継続し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、2025年5月22日発表の「中期経営計画」のとおり、2026年3月期を初年度とする新たな3ヵ年の中期経営計画を策定し、既存事業によるオーガニック成長を継続しつつ、M&A戦略をさらに強化することで、顧客基盤のさらなる拡大と既存事業とのシナジー創出を図り、企業価値の最大化を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、ロールアップ型のM&A案件の開拓と各事業において複数商材導入社数の増加、アップセルに注力し、収益力の強化を進めてまいりました。また、2025年4月にグループとして新卒社員111名を迎えたことで、早期戦力化を見据えた人材育成に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は5,636,948千円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は593,149千円（前年同四半期比11.2%増）、経常利益は589,700千円（前年同四半期比0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は402,146千円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは、事業活動の実態に即した経営情報の開示を目的として、当第1四半期連結累計期間から事業セグメントの見直しを行います。

これまで、連結子会社スターティアレイズ株式会社が展開していた業務効率化ソリューション事業（RPA（Robotic Process Automation：定型業務の自動化）やiPaaS（Integration Platform as a Service：クラウドサービス間のデータ連携の自動化）など）は、「ITインフラ関連事業」に区分されておりました。

一方、連結子会社クラウドサーカス株式会社が展開する「デジタルマーケティング関連事業」は、マーケティング支援を中心としたDX（デジタルトランスフォーメーション）領域に属する事業です。

両事業は、いずれも企業の業務効率化やデジタル化を支援するという点で高い親和性があることから、これらを統合し、新たに「DXソリューション関連事業」として区分・改称することといたしました。

<ITインフラ関連事業>

ITインフラ関連事業におきましては、MFP（複合機）やビジネスホンなどのOA機器の販売・設置・保守をはじめ、ネットワークやクラウドを活用したITインフラの構築、セキュリティ対策を提供しています。また、ISPや電話回線の加入受付代行、電力小売やLED照明などの環境機器の提供も行い、オフィスのITインフラをトータルで支援しています。

当第1四半期連結累計期間においては、新たにパソコン販売の積極的取り組みを開始し、既存顧客を中心にWindows10のサポート終了を見据えたパソコン買い替え需要の取り込みと、引き続きサイバーセキュリティへの対応ニーズによる取り込みによりネットワーク関連機器の販売によりフロー売上が好調に推移しました。また、新電力としての電力小売り、コスト削減や保守・サポートなどを詰め込んだ法人向けトータルサポートサービス「ビジ助」の受注などストック売上も好調に推移いたしました。ITインフラ関連事業として87名の新卒が入社したことによる人件費の増加影響により、セグメント利益は前期比較で減益となりましたが、計画には織り込んでおり、計画通りの進捗となりました。

その結果、ITインフラ関連事業の当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は4,458,404千円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益（営業利益）は374,407千円（前年同四半期比6.1%減）となりました。

<DXソリューション関連事業>

DXソリューション関連事業におきましては、マーケティングや営業活動を効率化する統合型SaaSツール「Cloud CIRCUS（クラウドサーカス）」に加え、総務や経理などのバックオフィス業務を自動化する業務自動化ツール（RPA）「RoboTANGO（ロボタンゴ）」や、クラウドサービス同士を連携させるツール（iPaaS）「JENKA（ジェンカ）」などを提供し、業務全体の効率化と生産性向上を支援しています。

当第1四半期連結累計期間においては、CS（カスタマーサクセス）人員を増員し、顧客との接点を増やす活動に注力いたしました。顧客の利用率を高めるためにもマーケティング担当者だけでなく、営業担当者にも営業活動に活用してもらう支援を行うことで、アクティブユーザーを向上させ、Cloud CIRCUSツールの商談数の増加にもつながりました。また、当期値上げを行ったRoboTANGOのアカウント数が500を超え、増収にも寄与しました。

その結果、DXソリューション関連事業の当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,174,390千円（前年同四半期比13.5%増）、セグメント利益（営業利益）は176,960千円（前年同四半期比82.2%増）となりました。

<CVC関連事業>

CVC関連事業におきましては、K&Pパートナーズ4号投資事業有限責任組合に対して、追加投資を行いました。

その結果、CVC関連事業の当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高はなく、セグメント損失（営業損失）249千円（前年同四半期と同額）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は13,075,614千円、前連結会計年度末と比較して1,128,466千円減少いたしました。その主な内容は、現金及び預金の減少412,202千円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少362,443千円、流動資産その他の減少322,904千円がありましたが、その一方で、棚卸資産の増加128,821千円があったことなどによるものであります。

負債の部は6,013,817千円となり、前連結会計年度末と比較して540,478千円減少いたしました。その主な内容は、長期借入金の減少240,418千円、賞与引当金の減少196,091千円、未払法人税等の減少170,345千円がありましたが、その一方で、流動負債その他の増加176,357千円があったことなどによるものであります。

純資産の部は7,061,796千円となり、前連結会計年度末と比較して587,988千円減少いたしました。その主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益402,146千円の計上がありましたが、その一方で、自己株式の増加318,276千円、その他有価証券評価差額金の減少8,733千円、配当金の支払673,646千円があったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2025年5月22日発表の「中期経営計画」のとおり、2026年3月期を初年度とする新たな3ヵ年の中期経営計画を策定し、既存事業によるオーガニック成長を継続しつつ、M&A戦略をさらに強化することで、顧客基盤のさらなる拡大と既存事業とのシナジー創出を図り、企業価値の最大化を目指してまいります。

ITインフラ関連事業においては、これまで、複数の類似企業と事業譲受による買収・統合を行い、規模の経済や事業シナジーを追求することで企業価値を高めるロールアップ型のM&Aの実績により販売エリアと顧客の拡充ができました。当期よりこれをM&A戦略として更に強化を進めつつ、複数商材を利用する顧客数の拡大を進めてまいります。

DXソリューション関連事業におきましては、前期までの中期経営計画において、デジタルマーケティング関連事業における統合型SaaSツール「Cloud CIRCUS」へのサブスクリプションモデルとして投資強化により収益拡大が遂げることができました。当期以降は中小企業のマーケティングと営業強化に留まらず、顧客のビジネス成長を加速し、顧客への提供価値を増やし続けていく上で当社グループの強みである「中小顧客基盤・営業力・中小向け開発力・デジタル活用力」の力を活かした「中小企業向けのBPaaS (Business Process as a Service: 企業の業務プロセスを外部に委託するBPO (ビジネスプロセスアウトソーシング) と、クラウドサービスであるSaaSを組み合わせたサービス形態)」として提供してまいります。

当社グループとして、ロールアップM&Aで顧客基盤を強化し提供価値を増やし続けることで顧客LTVの向上とビジネス成長を同時実現し続けるサイクルを回し、ITの総合サービス企業として業態を進化させてゆくことで、中長期的な拡大成長を遂げてまいります。

2028年3月期において、以下の目標達成を目指し事業を展開してまいります。

- ・売上高：290億円（既存事業）＋80億円（M&A＋シナジー領域による目標値）
- ・営業利益：42億円（既存事業）＋8億円（M&A＋シナジー領域による目標値）
- ・ROE：20%以上

2026年3月期の連結業績予想は、連結売上高24,100百万円（前期比8.5%増）、連結営業利益3,000百万円（前期比9.6%増）、連結経常利益3,000百万円（前期比7.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,000百万円（前期比2.0%増）としております。

(注) 本文中で記述しております通期の業績予想など将来についての事項は、予測しえない経済状況などの変化等さまざまな要因があるため、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,565,756	6,153,554
受取手形、売掛金及び契約資産	3,499,581	3,137,138
営業投資有価証券	148,993	153,804
棚卸資産	454,618	583,440
その他	1,025,657	702,752
貸倒引当金	△164,706	△169,017
流動資産合計	11,529,900	10,561,672
固定資産		
有形固定資産	226,426	223,477
無形固定資産		
のれん	391,437	373,398
ソフトウェア	934,804	906,357
その他	4,683	4,495
無形固定資産合計	1,330,924	1,284,251
投資その他の資産		
投資有価証券	151,092	126,693
繰延税金資産	431,156	347,075
差入保証金	302,261	299,918
その他	232,318	232,524
投資その他の資産合計	1,116,828	1,006,212
固定資産合計	2,674,180	2,513,941
資産合計	14,204,080	13,075,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,483,337	1,538,385
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,410,662	1,288,901
未払金	484,459	383,906
未払費用	275,942	319,999
未払法人税等	278,879	108,533
未払消費税等	238,700	226,231
前受金	157,425	191,890
賞与引当金	375,328	179,236
役員株式給付引当金	15,005	7,084
その他	129,927	306,285
流動負債合計	5,249,667	4,950,453
固定負債		
長期借入金	1,294,992	1,054,574
繰延税金負債	8,436	7,780
その他	1,199	1,008
固定負債合計	1,304,628	1,063,363
負債合計	6,554,295	6,013,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	824,315	824,315
資本剰余金	1,162,614	1,162,614
利益剰余金	6,573,936	6,302,436
自己株式	△1,043,879	△1,362,155
株主資本合計	7,516,987	6,927,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,386	69,652
その他の包括利益累計額合計	78,386	69,652
非支配株主持分	54,412	64,933
純資産合計	7,649,785	7,061,796
負債純資産合計	14,204,080	13,075,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,258,801	5,636,948
売上原価	2,937,982	3,132,346
売上総利益	2,320,818	2,504,601
販売費及び一般管理費	1,787,559	1,911,452
営業利益	533,259	593,149
営業外収益		
受取配当金	186	42
為替差益	12,780	—
持分法による投資利益	43,005	—
投資事業組合運用益	896	3,880
助成金収入	6,365	4,492
その他	1,928	1,148
営業外収益合計	65,163	9,563
営業外費用		
支払利息	5,028	6,658
控除対象外消費税等	2,455	1,592
為替差損	—	4,499
その他	1,776	262
営業外費用合計	9,260	13,012
経常利益	589,161	589,700
特別利益		
投資有価証券売却益	2,654	10,904
特別利益合計	2,654	10,904
税金等調整前四半期純利益	591,816	600,605
法人税、住民税及び事業税	5,655	99,945
法人税等調整額	94,611	87,992
法人税等合計	100,267	187,937
四半期純利益	491,549	412,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,633	10,521
親会社株主に帰属する四半期純利益	489,916	402,146

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	491,549	412,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,331	△8,733
その他の包括利益合計	△32,331	△8,733
四半期包括利益	459,218	403,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,584	393,412
非支配株主に係る四半期包括利益	1,633	10,521

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、「株式給付信託(BBT-RS及びJ-ESOP-RS)」より対象者へ41,271株の株式給付等を行い、自己株式が42,473千円減少しております。

また、2025年5月22日開催の取締役会決議に基づき、2025年5月23日に自己株式150,000株を360,750千円で取得いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において自己株式は1,362,155千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1
	ITインフラ 関連事業	DX ソリューション 関連事業	CVC関連事業	計	
売上高					
一時点で移転される財	2,591,000	176,340	—	2,767,340	—
一定の期間にわたり移転される財	1,632,444	858,238	—	2,490,683	—
顧客との契約から生じる収益	4,223,445	1,034,578	—	5,258,024	—
外部顧客への売上高	4,223,445	1,034,578	—	5,258,024	—
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,016	4,578	—	25,594	—
計	4,244,461	1,039,156	—	5,283,618	—
セグメント利益又は セグメント損失(△)	398,749	97,133	△249	495,632	△635

	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高			
一時点で移転される財	2,767,340	777	2,768,118
一定の期間にわたり移転される財	2,490,683	—	2,490,683
顧客との契約から生じる収益	5,258,024	777	5,258,801
外部顧客への売上高	5,258,024	777	5,258,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,594	△25,594	—
計	5,283,618	△24,817	5,258,801
セグメント利益又は セグメント損失(△)	494,997	38,262	533,259

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、報告セグメントに含まれない全社損益、セグメント間取引消去額等が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1
	ITインフラ 関連事業	DX ソリューション 関連事業	CVC関連事業	計	
売上高					
一時点で移転される財	2,755,479	197,873	—	2,953,352	—
一定の期間にわたり移転される財	1,702,925	976,516	—	2,679,442	—
顧客との契約から生じる収益	4,458,404	1,174,390	—	5,632,794	—
外部顧客への売上高	4,458,404	1,174,390	—	5,632,794	—
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,178	5,281	—	32,460	—
計	4,485,582	1,179,672	—	5,665,254	—
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	374,407	176,960	△249	551,117	△622

	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高			
一時点で移転される財	2,953,352	4,153	2,957,506
一定の期間にわたり移転される財	2,679,442	—	2,679,442
顧客との契約から生じる収益	5,632,794	4,153	5,636,948
外部顧客への売上高	5,632,794	4,153	5,636,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	32,460	△32,460	—
計	5,665,254	△28,306	5,636,948
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	550,495	42,654	593,149

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額には、報告セグメントに含まれない全社損益、セグメント間取引消去額等が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

スターティアレイズ株式会社が展開する業務効率化ソリューション事業（RPA〔Robotic Process Automation：定型業務の自動化〕やiPaaS〔Integration Platform as a Service：クラウドサービス間のデータ連携の自動化〕など）は「ITインフラ関連事業」に区分しており、クラウドサーカス株式会社が展開する「デジタルマーケティング関連事業」はマーケティング支援を中心としたDX（デジタルトランスフォーメーション）領域に属する事業であり、いずれも企業の業務効率化やデジタル化を支援するという点で高い親和性があることから、事業活動の実態に即した経営情報の開示を目的として、当第1四半期連結会計期間よりこれらを統合し、従来の「デジタルマーケティング関連事業」から新たに「DXソリューション関連事業」として区分・改称しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	102,494千円	107,369千円
のれんの償却額	18,039千円	24,039千円